



<定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)			
	第47週	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減		第1~48週		
インフルエンザ定点(定点医療機関数)		(45)			(10)			(10)			(4)			(9)			(12)						
インフルエンザ	27 0.01																				67		
小児科定点(定点医療機関数)		(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)						
RSウイルス感染症	785 0.25	2 0.07		▼				1 0.14		▽							1 0.14		▼		3044		
咽頭結膜熱	642 0.20	25 0.86	21 0.72	▼	1 0.17	3 0.50	△	1 0.14		▽			17 ◎2.83	16 ◎2.67	▼	6 0.86	2 0.29	▽			549		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1582 0.50	30 1.03	39 1.34	△				25 3.57	32 4.57	▲	1 0.33		▽	4 0.67	7 1.17	△					1386		
感染性胃腸炎	12799 4.05	102 3.52	103 3.55	△	46 7.67	55 9.17	△	13 1.86	5 0.71	▼	1 0.33	1 0.33		32 5.33	31 5.17	▼	10 1.43	11 1.57	▲		3077		
水痘	445 0.14	6 0.21	4 0.14	▼				1 0.14	3 0.43	△							2 0.33		▽	3 0.43	1 0.14	▼	132
手足口病	4446 1.41	12 0.41	4 0.14	▼	11 1.83		▽	1 0.14	4 0.57	▲												84	
伝染性紅斑	36 0.01	1 0.03		▼	1 0.17		▽															16	
突発性発しん	1076 0.34	13 0.45	14 0.48	▲	3 0.50	1 0.17	▽	2 0.29	1 0.14	▼	2 0.67	2 0.67		3 0.50	7 1.17	△	3 0.43	3 0.43			678		
ヘルパンギーナ	1249 0.40	8 0.28	10 0.34	△		1 0.17	△	5 0.71	7 1.00	△				3 0.50	1 0.17	▽			1 0.14	△	414		
流行性耳下腺炎	98 0.03	1 0.03		▼	1 0.17		▽															54	
眼科定点(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)						
急性出血性結膜炎	6 0.01																					0	
流行性角結膜炎	121 0.17	4 0.50	1 0.13	▼				1 0.33		▽	3 3.00	1 1.00	▽									63	
基幹定点(定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1 0.00																					1	
クラミジア肺炎	1 0.00																					0	
マイコプラズマ肺炎	8 0.02																					5	
細菌性髄膜炎	6 0.01																					2	
無菌性髄膜炎	13 0.03																					0	

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1	1				
腸管出血性大腸菌感染症				1		O血清群不明 VT1。
E型肝炎	1					
カルバペネム耐性腸内細菌感染症					1	※第47週追加報告分。90日以内の海外渡航歴:無し。
侵襲性肺炎球菌感染症			1			※第47週追加報告分。ワクチン接種歴:不明。
梅毒	1					※第47週追加報告分。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。
山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱			10	4	2	1			2			2			21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	4	2	4	3	5	3		4	4	8		1	39
感染性胃腸炎		6	22	16	9	4	7	9	7	5	1	15		2	103
水痘				1			1					2			4
手足口病			3				1								4
伝染性紅斑															0
突発性発しん		1	11	2											14
ヘルパンギーナ			5	1	3	1									10
流行性耳下腺炎															0

<トピックス>

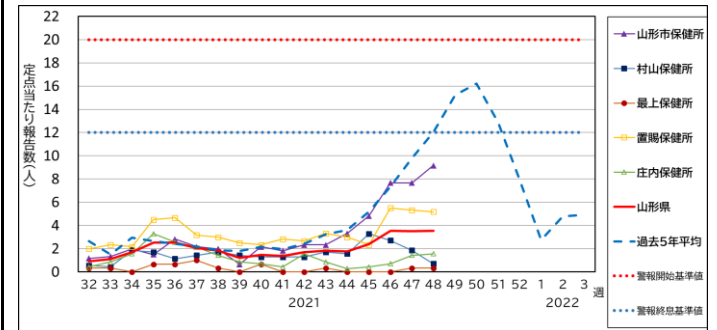
感染性胃腸炎が増えています

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌に感染したことにより起こる胃腸炎の総称で、冬季はノロウイルスによる感染性胃腸炎が多くみられます。主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱です。



第48週は、山形市の定点当たりの報告数が増加しています。

【県内定点医療機関における感染性胃腸炎報告数の推移】



< 令和3年10月 月報 >

※メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告数が修正されました。(1～9月分)

2021年11月17日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	16	14	7	6	3		2	4	1	4	3	152
	定点当り	1.60	1.40	2.33	2.00	3.00		2.00	4.00	0.50	1.33	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	15	1	5		1	4	4	1	3	2	93
	定点当り	0.80	1.50	0.33	1.67		1.00	4.00	4.00	0.50	1.50	0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1					3		1		19
	定点当り	0.20	0.30	0.33					3.00		0.33		
淋菌感染症	報告数	8	6	2	2			2	1	1	5	1	36
	定点当り	0.80	0.60	0.67	0.67			2.00	0.50	0.50	1.67	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	2	5		2			1	1		1	1	38
	定点当り	0.20	0.50		1.00			1.00	1.00		0.50	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	14	10	1	2	2	3			5		6	124
	定点当り	1.40	1.00	0.50	1.00	1.00	1.50			2.50		2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数		1									1	1
	定点当り		0.10									0.33	

ノロウイルスによる急性胃腸炎について

1.感染経路は？

ノロウイルスの感染経路はほとんどが経口感染で、ウイルスに汚染された食品を摂取して感染する場合や、感染者のふん便や吐づつから人の手などを介して感染する場合があります。

ノロウイルスは感染力が強く、症状が消失した後も3～7日間ほど患者の便中に排出されるので、二次感染を防ぐための対策が必要です。

2.ノロウイルスによる感染を防ぐには？

最も重要な予防方法は手洗いです。調理・食事前やおむつの交換後は石けんによる手洗いを十分に行ってください。

また、患者の吐づつや便には大量のウイルスが存在し感染源となりうるので、マスクと手袋を着用し、ウイルスが飛び散らないようにペーパータオル類で静かに拭き取り、速やかにビニール袋に密閉して廃棄しましょう。



その後、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を含ませたタオルで周囲を消毒し、感染拡大を防止しましょう。

(参考:厚生労働省 ノロウイルスに関するQ&A)